

INTERVIEW



総務課総務係
藤川 陽子 主査

男女共に活躍できる社会

女性が社会進出しやすい環境づくり、男性が家庭生活に参画しやすい環境づくり、男女ともに生きいきと活躍できる社会づくりを推進するため、御船町男女共同参画基本計画を作りました。

男女共同参画社会は、目に見えて変化があるわけではなく、個々の感じ方によっても差があります。そのため、行政、町民、地域、事業所などが一体となって取り組むことが大切です。

町ではこれまで、▼一日女性課長の日▼女性の人権をテーマにした職員研修—を実施してきました。さらに、毎週火曜日を定時退庁日と定め、職員のワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭の調和)の推進を図っています。今後は、役場の中だけでなく、▼町民向けのセミナー開催▼事業所ごとのアンケート調査—などを実施していきたいと考えています。

この計画が、町民一人一人の男女共同参画を実現するためのサポートとなるよう推進していきます。



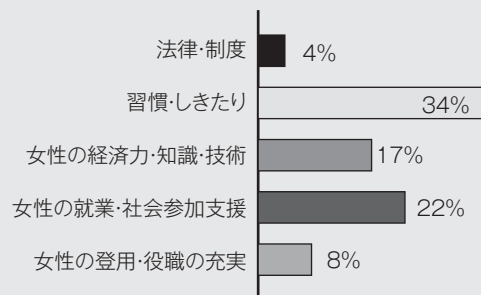
●御船町男女共同参画基本計画
平成23年3月策定。男女共同参画社会を推進するための計画や総合目標が全52ページで掲載。計画期間は平成23～30年度まで。

御船町は男女平等ですか

日本の憲法には、個人の尊重、法の下の平等がうたわれています。しかし現実には、家庭、地域、職場などで、男女の不等があるようです。町が行った、男女共同参画アンケート調査の結果からも明らかです。例えば、▼家庭生活、職場、政治の場での男性優遇▼性別で仕事や家庭の役割を固定すべきでない—の回答率が高い傾向にありました。特に▼家庭では家事や子育ては女性▼地域や職場の政策決定の場には男性—と、個人の能力で分担しているとはいえない状況です。

男女共同参画は、お互いを認めて、支えあい、性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できる社会です。町は、その社会を実現するため、全力でサポートしていきます。

問3 いろんな分野で男女平等になるためには、何が重要だと思いますか？

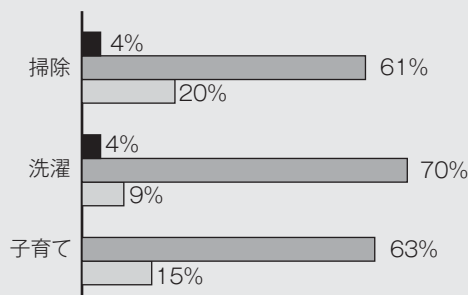


回答した男女の合計割合

女性の社会通念を改善

男女平等で最も求められていることは、習慣・しきたりで34%。特に、女性を取り巻く偏見や固定的な社会通念を改善することが必要と判断できます。次に、女性の就業・社会参加支援が22%。女性を支援する施設やサービス環境の充実を図ることも望まれています。

問4 家庭では、家事を主に誰が分担していますか？(既婚者のみ)

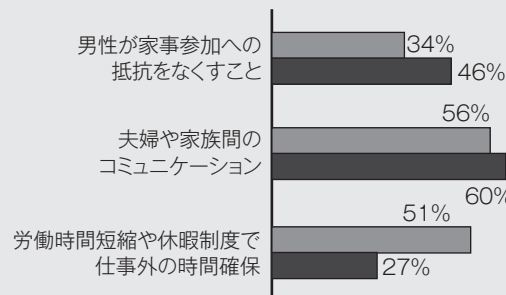


回答した男女で、■=夫、□=妻
□=夫婦の各合計割合

家事や育児への男性参画

家庭での家事や育児の分担は、妻が60%以上と、圧倒的な割合を示しています。一方、夫婦での協力は20%以下と伸び悩んでいるほか、子育てに至っては夫主体が0%となっています。女性が社会に進出するためには、男性のサポートがカギをにぎっているようです。

問5 男性が女性と共に、家事、育児、介護への参加で必要なことは？



回答した男女で、■=男性、■=女性 の各合計割合

夫婦や家族の会話重要

家事、育児、介護への参加で最も求められていることは、夫婦や家族間のコミュニケーションでした。男女共に約60%と高い割合に。互いができることをじっくり話し合うことが必要です。今から家庭で参加できることを男女平等に見つけてください。

*御船町男女共同参画基本計画とアンケート結果は御船町ホームページでご覧になれます。

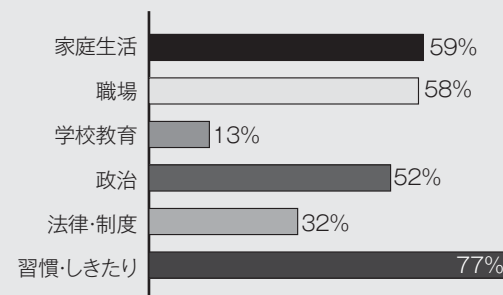
男女共同参画に関する

アンケート



この調査は平成22年5月、無作為で選んだ20歳以上の町民男女200人を対象に行ったものです。項目は、男女間の平等性、性別での役割、家庭の家事分担など、全12問で考えてもらいました。回答率は、約45%。気になるアンケート結果の一部を公開します。

問1 男女の地位は平等になっていると思いますか？

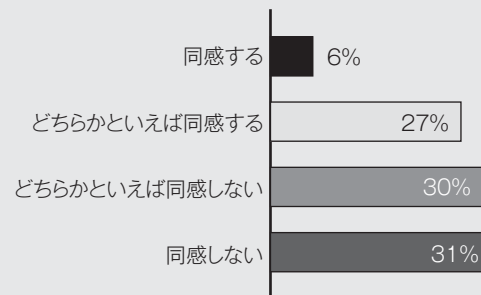


回答した男女で、男性の方が優遇、どちらかといえば男性の方が優遇と答えた人の合計割合

男性優遇が多い傾向に

家庭生活、職場、政治などの項目で、男性優遇と答えた人の割合が高く、習慣・しきたりに至っては、77%が男性優遇と感じています。一方で、学校教育の場では、低い割合に。つまり、社会進出や家庭において、男性が優遇されている傾向になっていると考えられます。

問2 男は仕事、女は家庭など、性別役割で固定する考え方をどう思いますか？



回答した男女の合計割合

性別で役割固定しない

男女の性別で、役割を固定することに▽どちらかというと同感しない▽同感しない—と答えた人を合わせると約60%となりました。これは、逆に考えると、男性も家庭で協力し、女性も仕事で社会進出するなど、性別にとられない役割が望まれていると判断できます。

参加型から参画型の社会へ

御船町男女共同参画基本計画の伝達式は3月28日、役場で行われ、御船町男女共同参画推進会議(渡邊達江会長)から木村元一副町長に計画書が手渡されました。

本計画は、町民意見の尊重や地域に根ざした施策推進を目的に、同推進会議と町が共同で策定しました。計画の内容は、家庭、地域、学校、職場などで、年齢や性別に関係なく、一人一人が参画しやすい環境づくりや支援体制をまとめたもの。この計画で目指す参画とは、単に参加することではありません。物事を決める企画や計画の段階から、対等に意見を出し合い、責任を分かち合うことを尊重しています。

つまり、「男は仕事」「女は家庭」といった固定的な役割を見直していくことから始めるものです。

問

総務課総務係

282-1111

個性と能力を発揮できる社会へ
男女共同参画を推進します



木村元一副町長に計画書を手渡す渡邊達江会長と土田キエ副会長